

中央区

平成29年(2017年)1月

まちづくり会議通信

◆このリーフレットは、中央区のまちづくりに関する様々な課題や情報を、地域の皆さまと共有するためにお届けいたします。

第18号

1 災害に対する認識を共有～H28年度第1回地域防災部会開催

平成28年10月31日(月)、平成28年度第1回地域防災部会が開催され、各連合町内会役員のほか、学校関係者及び市職員など約60人が参加しました。

7～9月にかけて相次いで発生し北海道に甚大な被害をもたらした大雨・台風について、その被害状況や避難勧告の経緯などを振り返りながら、避難所開設など中央区の対応について報告と検証を行いました。また、中央区で毎年実施している防災訓練について、今年の結果報告と来年の予定について事務局から説明があった他、「熊本地震災害派遣活動」「避難所運営体制づくりの取り組み」について報告がありました。

避難所運営体制づくりについては、区民、学校、区役所が濃密な意見交換を行いながら進めている様子が報告されたことから、意見交換の場では、参加者より「混乱することなく避難所運営をスムーズに行うことができるのだろうか」といった声などが上がり、「あらかじめ学校、地域、行政が一緒になって実際の施設に合った運営体制を作ることによって少しでも混乱を防ぐことができます。最初からマニュアル通りにうまく進んでいくとは限りませんが、一定のルールを地域の方が中心となって作っていくことが大事だと思います」と区職員が応えるなど、**行政と地域との間で災害に対する情報・認識を共有する貴重な場**となりました。



参加した方々は、災害を他人事と捉えず、熱心に質問や意見交換をされていました。



先行して避難所運営体制に取り組んでいる地区からも貴重なご意見が出されました。

2 第2回市電部会を開催しました

11月15日(火)、**第2回市電部会**が開催され、各連合町内会役員のほか、関係団体など約30人が参加しました。今年度の主要な議題についての報告・説明の後、意見交換では参加者から西線14条停留場から藻岩山登山道まで行く周辺の整備に関する要望や、「市電沿線に関する要望があれば、市として協力いただける範囲でアドバイスがあればありがたい」といった意見もあり、市としても可能な限り相談に応じたいとの姿勢が示されました。

● 路面電車沿線の景観まちづくりの取組について



市民・事業者等が関わりながら景観のあり方について検討し、地域特性に応じた魅力的な景観を目指す取り組み、「景観まちづくり」の内容と今後の展開について説明がありました。この中で、一定の規模を超える建築物を建築する場合などに市へ届け出を行ってもらい、基準の適合について協議する**届け出制度**や、**モデル地区**の選定について説明がありました。

● 市電部会現地視察会について

10月9日に開催した現地視察会について報告がありました。「**日本新三大夜景に選出された藻岩山周辺へ、より多くの観光客が市電を利用して訪れるようになるにはどうすればよいか**」というテーマの下、参加者からは「市電停留場から水道記念館や藻岩山までのルートをわかりやすく掲載したパンフレットを作製」などといったアイデアが相次いで発表されました。



● 市電BOOKプロジェクトについて



9月10日と10月29日に開催された市電BOOKプロジェクト第2回、第3回会議の報告がありました。市電BOOKのテーマを**タイムトラベル(今と昔の対比)**、**まちの森(あまり知られていない生物や木など)**、**まちアート(彫刻や看板など)**の3つに整理し、実際に市電沿線の取材を行ったことなどについて説明がありました。

<発行> 中央区まちづくり会議事務局(中央区市民部総務企画課)

〒060-8612 中央区南3条西11丁目中央区役所 TEL011-205-3205 FAX011-261-2991